

「話すこと [やり取り]」の指導における地域の魅力について事実や自分の考えなどを伝え合う活動（中学校）

1 単元名

ONE WORLD English Course1 Lesson7 「Symbols and Signs」

2 内容のまとめ

中学校第1学年 「話すこと [やり取り]」ア

3 単元の目標

自分の住んでいる町の魅力を相手に伝えるために、町や地域のことについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。

4 単元の評価規準「話すこと [やり取り]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] have to, must, may などを用いた文の特徴やまじりを理解している。 [技能] 自分の住んでいる町の魅力について、have to, must, may などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	身近な地域の魅力を外国人に伝えるために、町や地域のことについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝えている。	身近な地域の魅力を外国人に伝えるために、町や地域のことについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝えようとしている。

5 指導と評価の計画（7時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1	■単元の目標を理解する。 ■have to, don't have toの使用場面を理解する。 ①自己目標を設定する。 ②教科書の内容を通して、have to, don't have toの使い方を理解する。 ③教科書の対話文の続きを考え、ペアで伝え合う。	○			
2	■have to, don't have toを使って、自分の考えや感じたことを伝え合う。 ①身近な話題について、ペアで伝え合う。 ②have to, don't have toの使い方を確認し、ペアで話したことについて、自分の考え等を書く。		○	○	
3	■must, mustn't, mayの使用場面を理解する。 ①教科書の内容を通して、must, mustn't, mayの使い方を理解する。 ②身近な話題について、ペアで質問したり、答えたりする。	○			
4	■must, mustn't, mayを使って、学校のルールを伝え合うことができる。 ①学校のルールについてペアで伝え合う。		○	○	
5	■mayやbe able toの使用場面を理解する。 ①教科書の内容を通して、may, be able toの使い方を理解する。	○			
6	■mayやbe able toを使って、地域の身近な話題について自分の考えを伝え合う。 ①教科書本文を参考にするなどして、身近な話題について自分の考えをやり取りする。		○	○	
7	■外国人の友人に地域の魅力を伝えるために、自分の考えや気持ちを伝え合ったり、相手の質問に答えたりする。 ①地域の魅力についてペアで伝え合い、その様子を録画し、次時に向けて対話の修正をする。 ②自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。	○	○	○	行動観察 内容分析
後日	パフォーマンステスト	○	○	○	内容分析

【POINT】

導入で本時のねらいにせまるやり取りをします。教師とALTがモデルを示すことが大切です。



活動中の言語使用について、具体的にフィードバックします。場面に応じた適切な表現方法を確認することが大切です。



ペアやグループで、相互評価を行います。目的や場面、状況などに応じた表現などを確認することが大切です。



6 評価例

「話すこと [やり取り]」（知識・技能）（思考・判断・表現）

<p>評価場面</p>	<p>パフォーマンステスト 活動内容：身近な地域の魅力について、情報や自分の考えなどをペアで伝え合ったり、相手の質問に答えたりする。</p>																		
<p>評価方法</p>	<p>やり取り内容の分析</p>																		
<p>課題</p>	<p>ALTの友達が、12月にオーストラリアから北海道に遊びに来ることになりました。初めて来る北海道の魅力が伝わるようペアでやり取りをして魅力を伝えてください。</p>																		
<p>採点の基準</p>	<p>「思考・判断・表現」について、これまでに学習したことを踏まえた以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」とする。 条件1：助動詞や簡単な語句などを使っている。 条件2：情報や自分の考えや気持ちを伝えている。 条件3：相手の考えを求めたり、相づちを打ったりして対話を継続している。</p> <table border="1" data-bbox="336 748 1366 1137"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>誤りのない正しい英文で話すことができている。</td> <td>身近な地域の魅力について、情報や自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして、3つの条件を満たしてやり取りしている。</td> <td>身近な地域の魅力について、情報や自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして、3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で話している。</td> <td>3つの条件を満たしてやり取りしている。</td> <td>3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>「b」を満たしていない。</td> <td>「b」を満たしていない。</td> <td>「b」を満たしていない。</td> </tr> </tbody> </table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	a	誤りのない正しい英文で話すことができている。	身近な地域の魅力について、情報や自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして、3つの条件を満たしてやり取りしている。	身近な地域の魅力について、情報や自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして、3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。	b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で話している。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。	c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																
a	誤りのない正しい英文で話すことができている。	身近な地域の魅力について、情報や自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして、3つの条件を満たしてやり取りしている。	身近な地域の魅力について、情報や自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして、3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。																
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で話している。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。																
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。																
<p>生徒のやり取り例</p>	<p>生徒1: It is summer in Australia. It is winter in Japan. Where must he do in Hokkaido?[条件1] 生徒2: Let me see... [条件3] He able to enjoy delicious food. [条件1] 生徒1: That's nice. [条件3] I recommend fish. It's delicious. [条件2] He may like sushi. [条件1] 生徒2: I see. [条件3] I recommend Asahi onsen. 生徒1: Why do you recommend there? [条件3] 生徒2: He able to relax. [条件1] And he can enjoys talking with town people. 生徒1: Right. I like Asahi onsen, too. I want to go there, too. [条件2]</p>																		
<p>評価例</p>	<table border="1" data-bbox="336 1509 1366 1845"> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1509 855 1845"> <p>生徒1 〔知・技〕・・・a 正しい英文でやり取りすることができている。 〔思・判・表〕・・・a 自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして3つの条件を満たしてやり取りしている。</p> </td> <td data-bbox="855 1509 1366 1845"> <p>生徒2 〔知・技〕・・・b 誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・c 〔条件2〕を満たしていない。</p> </td> </tr> </tbody> </table>			<p>生徒1 〔知・技〕・・・a 正しい英文でやり取りすることができている。 〔思・判・表〕・・・a 自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして3つの条件を満たしてやり取りしている。</p>	<p>生徒2 〔知・技〕・・・b 誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・c 〔条件2〕を満たしていない。</p>														
<p>生徒1 〔知・技〕・・・a 正しい英文でやり取りすることができている。 〔思・判・表〕・・・a 自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な語句や相づち表現を活用したりして3つの条件を満たしてやり取りしている。</p>	<p>生徒2 〔知・技〕・・・b 誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・c 〔条件2〕を満たしていない。</p>																		